

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP [tps://isawachu.edumap.jp](https://isawachu.edumap.jp)〉

生徒会入会式



上級生が1年生を歓迎する形で、11日(火)に開催しました。前半は、生徒会執行部や専門委員会の活動紹介、応援の演示、学校生活のあり方等について、映像も使い説明が進みました。後半は、部活動紹介と執行部の歓迎アクションが体育館一杯に繰り広げられました。

温かな雰囲気の中で、盛り上がる部分もあり、全校の一体感を感じる集会活動となりました。今年度も3年生リーダーを中心とした生徒会活動が本格化しています。

安全な登下校のために

10日(月)に全校生徒を対象とした交通安全教室を開催し、講話と映像により交通安全

のあり方について学習する機会としました。特に講話では、自転車利用時のヘルメットの正しい着用について、その意味や効果を強調して伝えていただきました。その後、1年生は、校外での自転車の実地練習も行いました。



不審者に関して

暖くなる時期には、不審者の情報が増える傾向があります。気をつけさせたいところです。例えば、次のような人物には警戒する必要があります。とされています。

- ・服装や持ち物に違和感を感じる
- ・同じ場所に長時間いる
- ・人と目を合わせない

安全な行動のために、外出時の同行者、時間や場所について、日常からご家庭で話題にしていただければと思います。その際、家族間の約束事も決めていただければと思います。学校でも必要に応じた指導を繰り返していきます。

集団行動・整列

日常の生徒会活動や集会活動、万が一の際の緊急避難などを想定した整列の形の確認と練習を行いました。ある程度の規律ある集団行動は全校生徒350人の学校生活には必要なものだと思います。

型を整え、そこに気持ちを加えることで、形が見えてくるように感じています。

復興教育の日

胆沢中では毎月11日（その前後）を復興教育の日として、年間を通じて学ぶ機会を設定しています。岩手県で作成した副読本を活用しながら、「いきる・かかわる・そなえる」を大きな主題としながらの取組を進めています。

防災教育の観点だけでなく、人としてのあり方や生き方、他者に対する思いやりや助け合いの心の育成をめざしています。

授業参観・学年PTA

12日付のお手紙でお知らせしたように、今年度1回目の授業参観を学年別に開催します。きょうだいのいるご家庭は都合の良い機会での参観をお願いします。

また、PTA総会は紙面開催とし、学級懇談と学年PTAを開催することとします。こちらへの参加もよろしくお願いいたします。

1年生 21日（金）	}	参観	14時25分 ～15時15分
2年生 24日（月）		PTA	15時25分 ～16時15分頃
3年生 26日（水）			

高1調査⑪「勉強時間」

家や塾などでの勉強時間はどのくらいか

	平日	休日
しない	23. 8%	26. 4%
1時間未満	30. 7%	22. 1%
1～2時間未満	28. 4%	23. 5%
2～3時間未満	12. 8%	13. 6%
3～4時間未満	2. 2%	7. 8%
4時間以上	1. 1%	4. 7%

休日に時間を増やして取り組んでいる様子が見られます。平日の通学時間や課外活動時間がある場合は、勉強する時間の確保が難しいのかもしれませんが、一方、学習しないと答えた割合が高いようにも感じました。時間の使い方は今から工夫する気持ちをつくらせたいものです。